

「AMANI」とは
スワヒリ語で「平和」
2007年12月



市橋 隆雄 さら
ハンナ、誉主有、栄麗也
リベカ、ノア

Merry Christmas and A Happy New Year

クリスマスの喜びが皆様の上に豊かにそそがれますようお祈りいたします。

私たちはケニヤで20回目のクリスマスを迎えます。これまでの皆様の祈りと支えを心より感謝いたします。2008年が皆様にとって祝福の年となりますよう、お祈りいたします。

コイノニア・ミニストリー

キューナ教会、コイノニア・アカデミー、キッズクラブ、職業訓練、医療教育プログラムなどの働きを総称してコイノニア・ミニストリーと呼ぶことになりました。キューナ教会の10年間、コイノニアの5年間は基礎づくり期間でした。2008年は新しい展開が始まろうとしています。神様の示されるヴィジョンに従って、次の10年の活動計画を立て、ご奉仕をしようと願っています。その手始めに、いま、コイノニア・ミニストリーを継続、発展させるための基盤ともなるべき恒久的な場所と施設を持ちたいと願っています。教会を中心に教育、医療サービスを提供できる総合的なセンターの建設に向かって歩み始めています。この計画を神様がどのように導き、成就してくださるかを期待しつつ活動しています。

キューナ教会

コイノニア・ミニストリーの中心はキューナ教会です。10年前に、私達夫婦とバエ牧師夫妻とが、聖書に立って、救いの良い知らせをを宣べ伝え、助けを必要とする人々に仕えながら、より良いコミュニティ造りに貢献する教会を形成したいとの願いを持って始めました。地の塩、世の光として生きる人々を育てることも大切な使命です。今年は教会の中心となる人々が数回の研修を行い、教会のビジョンを確認し合いました。心が一つにされ、共に前進したいという思いを確認し合いました。土地購入のための募金委員会も組織されました。大人の礼拝出席者が50人前後の小さな交わりに大きな幻が与えられています。常識的には不可能と思えることでも、神様のご計画であれば必ず実現するとの信仰をもって歩んでいます。

コイノニア・アカデミー

5年前から始められたキバガレスラムに住む子どもたちへの幼稚園と小学校教育プログラムです。先生たちの忍耐強い努力と子供たちの積極的な学習への取り組みが効果を見せ、コイノニア・アカデミーの教育レベルの高さが評価されてきました。コイノニアの子どもたちは正しく英語をしゃべる、マナーがある、人のことを思いやることができるなど、スラムの大人たちが接すればすぐコイノニアの子どもだとわかると話しています。

しかし、この1年間も次々と取り組むべき課題が与えられました。一番大きく心の痛む問題は性的虐待です。父親から虐待を受けていた5歳の女の子を保護し、父親が警察に捕まりました。娘と父親を残して、半年以上田舎へ行っていた母親が帰ってきて、「コイノニアのせいで子供が連れていかれた。夫が犯罪者にされた。コイノニアもキューナ教会も悪魔崇拝の教会だ」とスラムの中で言いふらしています。それを聞いて動揺している親達もいます。コイノニアに子供が入らないのではと心配している人もいます。しかし、大人の欲望の犠牲になる子供たちを守り救うためにコイノニアはここに存在していると言い切っています。さらに、女の子だけではなく男の子のレイプ事件もありました。子供たちの心のケアも大きな私たちの使命です。

また、母親達が現金収入を得られるための職業訓練も行っています。現在は洋裁と織物の教室を運営しています。ケニヤ独特の生地 カンガーを使ったエプロン、バックは好評です。日本での販売も計画中です。



キッズ・クラブ

スラムの小学生を対象にした土曜クラスです。助け合うこと、真実を語ること、話を聞くこと、一生懸命取り組むことなど、ルールに従って生活することを学びます、英数の補修勉強、聖書の学び、ルールを身につけるゲーム、サッカーに汗を流します。日本人学校、他のクラブチームと積極的に対外試合をし、実力をめきめき上げてきています。

着物ファッションショー

6月にナイロビにおいてコイノニアの学校建設資金のために着物のファッションショーが開かれました。ハンナが発案者でしたが、多くの方々の協力により本格的なショーが催されナイロビに住む各国の方々に楽しんでいただきまた収益を上げる事ができました。ご協力くださった方々に心より感謝いたします。



隆雄の日本訪問

6,7月15教会において説教奉仕、活動報告と交わりの機会が与えられました。8つの幼稚園、中高校、大学でケニアでの働き、教育の話をさせていただきました。また4つの企業を訪問し、コイノニアの土地購入、施設拡充のための支援のお願いをさせていただきました。函館相生教会の久野牧師先生ご夫妻のお計らいによって札幌、函館でのYWCA、教会での講演をさせていただき、新しい方々との出会いと交わりが与えられました。また船本弘毅先生ご夫妻のご配慮で企業の責任者の方々との面談が許されました。現在56名在籍生徒中42名に日本人のコイノニアスポンサーが与えられています。全ての方々とお会いすることはできませんでしたが、皆様のご支援に心から感謝いたします。郷里三重県亀山での講演会も回を重ね、ライオンズクラブをはじめ、多くの方々のご理解とご協力を得ることができるようになってきました。支える会の方々のお骨折りに感謝いたします。

日本語聖書の会

毎週日曜日の午後に行っている日本語の聖書の会は大人と子供を合わせて25名から30名の参加者です。一つの教会のようです。クリスチャンでない方々も参加され共に聖書の学び、交わりを持っています。子ども達も10名以上なので9月から子供のクラスも始めました。12月には日本人子供クリスマス会を予定しています。ナイロビに住む日本人の家族を招いて、クリスマスキャロル、劇などの楽しい会です。会に参加されている方々が、様々な形で積極的にコイノニアの働きに関わり支えて下さっています。

家族

ナイロビの市橋の家族は4人となりました。長女ハンナは日本で日本語の勉強しながら将来の可能性を探っています。長男ヨシュアはカナダでの大学生生活も3年目になりました。今年は会社研修の経験もしています。次男エリヤは9月からカナダのマニトバ州の大学で機械工学を専攻し学んでいます。9月はホームシックにかかりましたが、初めての雪を見、毎日気温がマイナスになる生活に慣れ始めています。リベカもノアもそれぞれ自分の学校生活を楽しみつつ成長しています。7人でにぎやかに過ごした日々が懐かしく思いますが、親としての責任を一段落させた思いがしています。我が家の歴史も次の章に展開しています。



これからも私たちがケニアでの奉仕を続ける事ができるよう、皆様のご支援をお願いいたします。
市橋家族への支援 三菱東京UFJ銀行 品川駅前支店 普通預金 4453534 市橋隆雄
活動支援 郵便振込み 「コイノニア・アカデミー基金」00160-6-373439

住所 Takao & Sara Ichihashi P.O.Box 772 - 00621 Nairobi Kenya Tel 254-20-4182756

E-mail ichihashi@kcf.or.ke

HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>